品番　CF-AX2/CF-SX2/CF-NX2/CF-B11シリーズ

Windows 7
ダウングレード版

お 知 ら せ

表記について

- は画面で見るマニュアルのマークです。
- 本書は、CF-AX2シリーズ、CF-SX2シリーズ、CF-NX2シリーズ、CF-B11シリーズ共用です。
  共通部分のイラストはCF-SX2シリーズを使用しています。共通でない部分は、対象品番を表示しています。
- 本書では、「Windows® 7 Professional 32ビット（日本語版）」および「Windows® 7 Professional 64ビット（日本語版）」を「Windows」または「Windows 7」と表記します。また、「Windows® 8 Pro 64ビット（日本語版）」を「Windows」または「Windows 8」と表記します。
- 本書はハードディスクドライブ搭載モデル/フラッシュメモリードライブ搭載モデル共用です。
  本書ではフラッシュメモリードライブをSSDと表現しています。

もくじ

Windowsをセットアップする 所要時間：約20分

セットアップの前に

> Windowsを使用できるようになるまで 、必ずACアダプターを接続した状態にしておいてください。また、Windowsのセットアップが完了するまでは、有線 LANは接続しないでください。

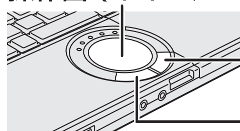
- Windowsのセットアップが完了するまで、セットアップユーティリティの設定を変更しないでください。セットアップが正しく動作しない場合があります。

ホイールパッドの基本操作 CF-SX2/CF-NX2/CF-B11シリーズ

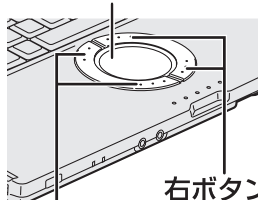
マウスと同じように、ポインターを動かしたり機能を選択したりします。

Windowsのセットアップ時、ポインターの移動やボタンなどの選択（クリック）には、ホイールパッドの操作面と左ボタンを使います。

CF-SX2/CF-NX2シリーズ



CF-B11シリーズ



ボタンは上下にあります。操作説明のイラストは、下のボタンを使った場合の例です。上のボタンでも同じ操作ができます。

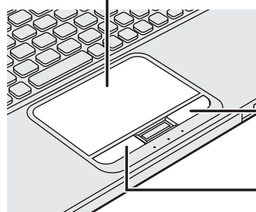
機能	操作
ポインターを動かす	指先を操作面で動かす。
タップ／クリック／右クリック	タップ または クリック　右クリック
ダブルタップ／ダブルクリック	ダブルタップ または ダブルクリック
ドラッグ	または 1回タップしてから素早く指先で操作面をこする。 ボタンを押しながら指を移動させる。
スクロールする	または 下方向／右方向　上方向／左方向 ホイールパッドの端から円を描くようになぞる。 横スクロールは、ご使用前に初期設定が必要です。 ➡ 『操作マニュアル』「ホイールパッド」

Windowsをセットアップする

タッチパッドの基本操作 CF-AX2シリーズ

マウスと同じように、ポインターを動かしたり機能を選択したりします。
Windowsのセットアップ時、ポインターの移動やボタンなどの選択（クリック）には、タッチパッドの操作面と左ボタンを使います。

操作面（タッチパッド）



右ボタン

左ボタン

機能	操作		
ポインターを動かす	指先を操作面で動かす。		
タップ／クリック／右クリック	タップ	または クリック	右クリック
ダブルタップ／ダブルクリック	ダブルタップ	または	ダブルクリック
ドラッグ	1回タップしてから素早く指先で操作面をこする。	または	ボタンを押しながら指を移動させる。
スクロールする	右端で上下にスライドする。	または	下部で左右にスライドする。



重 要

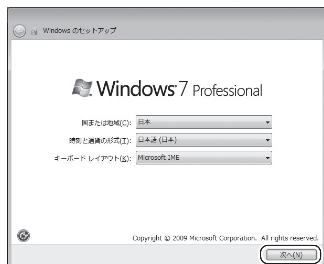
- ●操作面にものを置いたり、爪など先のとがったものや硬いもの、ペンのような跡の残るもので操作したりしないでください。
- ●油などでホイールパッドやタッチパッドを汚さないでください。ポインターが正常に動かなくなります。

Windows 7のセットアップ

重 要

電源を入れた後、Windowsのセットアップ画面が表示されるまでの間、画面が真っ黒になったり、同じ画面がしばらく表示されたりしますが、故障ではありません。そのままお待ちください。

1 設定を変更せずに[次へ]をクリックする。



2 ユーザー名をキーボードで入力し、[次へ]をクリックする。

- ユーザー名は自由に入力してください。ただし、@、&、CON、PRN、AUX、CLOCK$、NUL、COM1 ～ COM9、LPT1 ～ LPT9、全角文字(例えば、漢字、ひらがな、全角カタカナ、全角英数字など)、半角スペースは使用しないでください。
  特に「@」を含んだユーザー名を設定すると、パスワードを設定していなくてもログオン画面でパスワードの入力が求められます。空白でログオンしようとしても「ユーザー名またはパスワードが正しくありません」と表示され、ログオンできなくなります。ログオンできない場合は、Windowsの再インストールが必要になります。再インストールの方法については、14ページをご覧ください。
- コンピューター名は、ネットワークを使用して複数のパソコンと接続する場合に本機を識別するための名前です。ユーザー名を入力すると、コンピューター名にも「ユーザー名-PC」が自動的に入力されます。必要に応じて変更してください。コンピューター名は英小文字で始まる半角英数字で入力してください。ネットワークに接続しない場合は、画面に表示された名前を変更する必要はありません。
- この画面の設定は後で変更可能です。

3 パスワードとパスワードのヒントをキーボードで入力し、[次へ]をクリックする。

- パスワードに使える文字は、半角の英数字と記号です。英字の大文字と小文字は区別されます。
- この画面の設定は後で変更可能です。



メ モ

- Shift を押しながら Caps Lock を押してキャップスロックにしていたり、NumLk を押してテンキーモードが有効になっていたりすると、設定したいパスワードと異なるパスワードが入力/設定されてしまうおそれがあります。
- 設定したパスワードは必ず覚えておいてください。パスワードを忘れるとWindowsにログオンできなくなります。

4 ライセンス条項をよく読む。

5 [ライセンス条項に同意します(Windowsを使用するには同意が必要)]と[ライセンス条項に同意します(コンピューターを使用するには同意が必要)]をクリックしてチェックマークを付け、[次へ]をクリックする。

6 [推奨設定を使用します]をクリックする。

Windowsの自動更新が[有効]になり、インターネット接続時にWindowsの更新プログラムが自動的にインストールされます。[重要な更新プログラムのみインストールします]または[後で確認します]を選択する場合は、[それぞれのオプションについての詳細情報を表示します]をクリックし、内容をよくお読みください。

7 タイムゾーンと日付を設定し、[次へ]をクリックする。

- 日付
  カレンダー上部の◀ ▶をクリックして年月を選び、日をクリックします。
- 時刻
  時間、分、秒をクリックした後、数字を直接入力するか、時刻の右側の⬍をクリックします。

「ようこそ」のメッセージが表示された後に「-- 初期設定を行っています。--」の画面が表示され、各種設定が行われた後、Windowsが起動します。

- 「Internet Explorer 9の設定」画面が表示された場合は、画面を操作せずにそのままお待ちください。
- 「設定が完了すると自動的に再起動しますので、そのままお待ちください」というメッセージが表示され、各種設定が行われます。Windowsが自動的に再起動するまで、そのままお待ちください。この間、ACアダプターを抜いたり電源を切ったりしないでください。

8 ログオン画面が表示された場合は、手順3で設定したパスワードを入力して➡をクリックする。

パスワードを設定していない場合やモデルによってはログオン画面が表示されない場合があります。



CD/DVDドライブ搭載モデルの場合

●工場出荷時はCD/DVDドライブの電源がオフに設定されているため、[コンピューター]などでCD/DVDドライブが表示されません。CD/DVDドライブの電源をオンにすると、表示されるようになります。
また、オンにしたとき、通知領域に「新しいハードウェアが見つかりました」と表示される場合があります。

CF-SX2シリーズ

CD/DVDドライブの電源をオンにするには、次の手順を行ってください。

① 画面右下の通知領域の▲をクリックし、(電源プラン拡張ユーティリティ)をクリックする。
② [オプティカルディスクドライブの電源]をクリックし、[オン]をクリックする。

CF-B11シリーズ

CD/DVDドライブの電源をオンにするには、Fn+Endを押してください。

Windows 7の設定を変更する

Windowsのセットアップ時にパスワードを設定し忘れた場合や、自動更新の設定を変更したい場合は、セットアップ完了後、次の手順で変更できます。

●パスワードを設定する

パスワードの設定方法については、『操作マニュアル』「セキュリティ」の「ユーザーアカウント/Windowsパスワードを設定する」をご覧ください。

●自動更新を設定する

「Windows 7のセットアップ」の手順6(➡5ページ)で[後で確認します]を選択した場合などに行ってください。

自動更新を「有効」にしておくと、インターネット接続時にWindowsの重要な更新プログラム(セキュリティの更新など)が提供されていないか定期的に確認され、自動的にインストールされます。

1 (スタート)-[コントロールパネル]をクリックし、[システムとセキュリティ]-[アクションセンター]をクリックする。

2 [Windows Update]の[設定の変更]をクリックする。

[自動更新]がすでに「有効」になっている場合は、[Windows Update]の項目は表示されません。

3 [自動的に更新プログラムをインストールします]をクリックする。

「ユーザーアカウント制御」の画面が表示された場合は[はい]をクリックしてください。

手順2の画面に戻ります。

[Windows Update]の項目が表示されていないことを確認してください。

4 ✕をクリックし、表示しているウィンドウをすべて閉じる。

自動更新の設定はこれで完了です。



●自動更新が「有効」になっているときに設定を変更するには、(スタート)-[コントロールパネル]-[システムとセキュリティ]-[自動更新の有効化または無効化]をクリックしてください。

SSD搭載モデルをお使いの場合

ハードディスクドライブの代わりにSSDが取り付けられています（ハードディスクドライブは取り付けられていません）。
『取扱説明書 活用ガイド』や『操作マニュアル』などに記載の「ハードディスク」および「ハードディスクドライブ」を「SSD」と読み替えてください。例えば、セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューに表示される「ハードディスク保護」はSSDのデータの読み書きを制限する機能を指します。
ただし、「ハードディスクドライブ搭載モデルのみ」と記載されている項目については、お使いいただけません。



メモ

- SSDの寿命を延ばすには、書き込み回数を減らすことが有効な手段になります。
  Windows 7では、SSDが搭載されていることを認識し、自動デフラグを停止します。
  設定などを行う必要はありません。

リカバリーディスクを作成する

所要時間：約1時間
（DVD-R 8倍速で作成した場合）

リカバリーディスクについて

Windowsが起動しなくなったり、Windowsの動作が不安定になって修復できなくなったりすると、Windowsの再インストールが必要になる場合があります。
本機のハードディスクには、Windowsを再インストールするために必要なリカバリーデータが保存されたリカバリー領域があり、この領域のデータを使ってハードディスクの内容をお買い上げ時の状態に戻すことができます。
また本機には、お買い上げ時の状態に戻すためのリカバリーディスクを作成できる「リカバリーディスク作成ユーティリティ」がインストールされています。リカバリーディスクの作成を希望される場合は、「リカバリーディスクを作成する」（➡9ページ）の手順で作成することができます。



メモ

● リカバリーディスクを使って再インストールするよりも、ハードディスクのデータを使った方が、短い時間で再インストールすることができます。

● **CF-SX2/CF-B11シリーズをお使いの場合**
内蔵のCD/DVDドライブでリカバリーディスクを作成することができます。

● **CF-AX2/CF-NX2シリーズをお使いの場合**
外付けDVDドライブ（別売り）を準備してください。詳しくは、「リカバリーディスク作成の前に」をご覧ください。（➡9ページ）



メモ

● リカバリーディスク作成後でもハードディスク内にあるリカバリー領域のデータを使って再インストールすることができます。
● ハードディスクのバックアップや復元、パーティションの変更などを行うための市販のアプリケーションソフトをインストールしていると、ハードディスクの一部（先頭部分）が書き換わってしまい、リカバリーディスクが作成できない場合があります。
リカバリーディスクは、これらのアプリケーションソフトをインストールする前に作成されることをお勧めします。

使用できるディスクの種類と必要枚数

● **使用できるディスクの種類は次の表をご覧ください。**
「データ用」および「録画用」どちらでも使うことができます。
必ず未使用のディスクを準備してください。

使用できるディスクの種類
DVD-Rまたは+R（1層） DVD-R DLまたは+R DL（2層）

CF-SX2/CF-B11シリーズの内蔵のCD/DVDドライブおよび推奨の外付けDVDドライブでは以下のディスクは使えません。

- DVD-RW、+RW、DVD-RAM
- Blu-ray Disc
- CD-R、CD-RW

● **必要枚数は、「リカバリーディスクを作成する」の手順❻の画面に表示されます。画面に表示された枚数を準備してください。**

● **動作確認済み（推奨）のディスクについて**

CF-SX2/CF-B11シリーズ

インターネットに接続できる環境で次のWebページにアクセスしてください。
推奨メーカー以外のディスクでは正常に書き込みや書き換え、読み出しなどができない場合があります。
http://askpc.panasonic.co.jp/work/disk/index.html

CF-AX2/CF-NX2シリーズ

外付けDVDドライブの説明書をご覧ください。
推奨メーカー以外のディスクでは正常に書き込みや書き換え、読み出しなどができない場合があります。

リカバリーディスク作成の前に

次の点を確認してください。

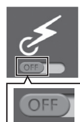
- 必ず、ACアダプターを接続してください。
  - ミニACアダプターは使用しないでください。
- LANケーブルや周辺機器、SDメモリーカードなどは、すべて取り外してください。
- 自動的に起動するアプリケーションソフトは終了してください。
- 無線LANでネットワークに接続している場合は、無線機能をオフにしてください。

CF-AX2/CF-SX2/CF-NX2シリーズ

無線切り替えスイッチをOFF側※にスライドして無線機能の電源を切ってください。
※ CF-AX2シリーズは右側、
CF-SX2/CF-NX2シリーズは左側です。

CF-B11シリーズ

[Fn]+[PgDn]を押して無線機能をオフにしてください。
無線機能がオンからオフに切り替わった場合は、右のポップアップが表示されます。



(ON)が表示された場合は、無線機能がオフからオンに切り替わっています。再度[Fn]+[PgDn]を押して無線機能をオフにしてください。

- ハードディスクの空き容量が15 GB以上あることを確認してください。空き容量が足りないと作成できません。

CF-AX2/CF-NX2シリーズ

- 外付けDVDドライブ(別売り)を準備してください。
  外付けDVDドライブは、バッファロー製USBポータブルDVDドライブ(品番:DVSM-PC58U2VシリーズまたはDVSM-PS58U2シリーズ)のご使用をお勧めします。
  上記以外のDVDドライブを使ってDL(2層)のディスクをお使いになる場合はDVDドライブがDL対応であることをご確認ください。
  動作確認済みのDVDドライブの最新情報については、インターネットに接続できる環境で次のWebページにアクセスしてください。
  http://askpc.panasonic.co.jp/work/drive/

リカバリーディスクを作成する

重要

- DVD-R 8倍速で作成した場合の所要時間は約1時間です(所要時間は、書き込み速度やシステム設定、使用するディスクにより変動します)。
  時間に余裕を持って作成してください。
- リカバリーディスクの作成を中断した場合、リカバリーディスク作成ユーティリティが終了するまでしばらく時間がかかります(約10分)。そのままお待ちください。リカバリーディスク作成ユーティリティが終了した後、Windowsを再起動し、最初からやり直して作成してください。
  ディスクの書き込み中に中断すると、書き込み中のディスクは使用できなくなります。中断したディスクと同じ種類の未使用の新しいディスクを用意してください。
- 作成したリカバリーディスクは大切に保管してください。
- 作成したリカバリーディスクは本機専用です。他のパソコンで使用することはできません。
- リカバリーディスク作成中は次のことを行わないでください。リカバリーディスクが作成できなくなります。
  - Windowsの終了や再起動
  - スリープ状態/休止状態機能の使用
  - CD/DVDドライブのドライブ文字の変更
  - CF-AX2/CF-NX2シリーズをお使いの場合は、外付けDVDドライブの取り外し

1. ACアダプターを接続する。

   CF-AX2/CF-NX2シリーズ

   - 外付けDVDドライブ(別売り)を本機に接続してください。接続のしかたについては、外付けDVDドライブの説明書をご覧ください。

2. 管理者のユーザーアカウントでログオンする。
   ピークシフト制御ユーティリティでピークシフト制御を有効に設定している場合は、次の手順で無効にしてください。
   ① 画面右下の通知領域のをクリックしてをクリックする。
   ② [ピークシフト制御を有効にする]をクリックしてチェックマークを外し、[OK]をクリックする。

リカバリーディスクを作成する

3 未使用のディスクをセットする。

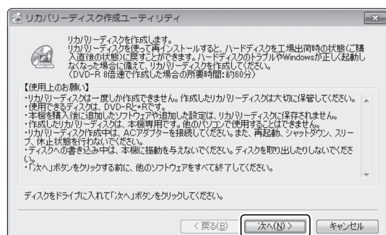
CF-B11 シリーズ

CD/DVD ドライブのイジェクトボタンを押してもトレイが開かない場合は、もう一度イジェクトボタンを押してください。

4 （スタート）-［すべてのプログラム］-［Panasonic］-［リカバリーディスク作成ユーティリティ］をクリックする。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、［はい］をクリックしてください。

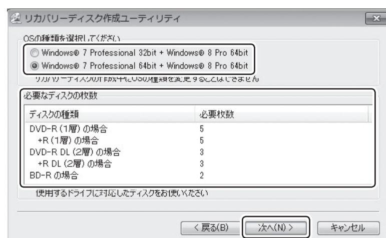
5 画面の注意事項をよく読み、［次へ］をクリックする。



（画面は一例です）

6 作成するOSの種類をクリックし、画面に表示されたディスクの必要枚数を準備して［次へ］をクリックする。

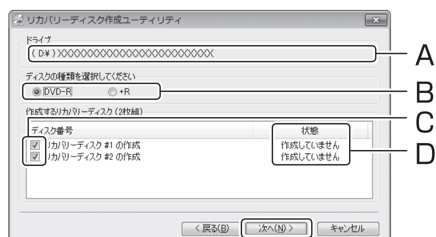
Windows 7 32ビットとWindows 7 64ビットを含む2種類のリカバリーディスクを作成する場合は、どちらかのリカバリーディスクを作成した後、Windowsを再インストールする必要があります。再インストール後、同じ手順で前回とは別のOSのリカバリーディスクを作成してください。



（画面は一例です）

- 選択したOSのリカバリーディスクが作成されます。

7 作成するリカバリーディスクにチェックマークが付いていることを確認し、［次へ］をクリックする。



（画面は一例です）

A：CF-AX2/CF-NX2シリーズをお使いの場合は、リカバリーディスク作成に使用する外付けDVDドライブを選びます。

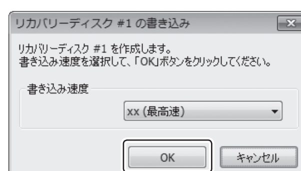
B：リカバリーディスク作成に使用するディスクの種類をクリックします。
ディスクの種類を間違うと、しばらくしてエラーメッセージが表示されます。

C：作成するリカバリーディスクの枚数分の項目が表示されます。
- リカバリーディスク作成ユーティリティを初めて起動したときは、すべての項目にチェックマークを付けたままにしてください。

D：作成途中で終了したときなどやり直す場合は、［状態］に現在の作成状況が表示されます。
- ［完了しました］と表示されている場合：
該当のリカバリーディスクの作成が完了しています。
- ［失敗の記録があります］と表示されている場合：
前回途中で終了したため、作成に失敗しています。最初からやり直してください。

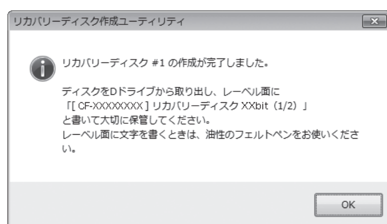
リカバリーディスク作成の準備が始まります。そのままお待ちください。準備が終わると、「リカバリーディスク #1 の書き込み」画面が表示されます。

8 書き込み速度を選び、［OK］をクリックする。



- ディスクの作成準備やディスクのチェックにそれぞれ10分～ 20分かかる場合があります。
- ディスクへの書き込みが始まり、作成しているディスクの番号と作成状況が画面に表示されます。そのままお待ちください。CD/DVDドライブからディスクを取り出したり、パソコンに振動や衝撃を与えたりしないでください。
- 書き込みを中断したり、キャンセルしたりした場合は、同じ種類の未使用のディスクを使って再度作成してください。

9 「リカバリーディスク#1の作成が完了しました」画面が表示されたら、リカバリーディスクを取り出し、レーベル面（データが書き込まれていない面）にディスクの名前や内容を書く。



- ボールペンなどペン先が硬いものは使わないでください。
- レーベルに記入する内容（一例）
  - ディスクの名前：リカバリーディスク
  - ディスクの番号（何枚中の何枚目）：「2枚中の1枚目」や「1/2枚」、「1枚中の1枚目」や「1/1枚」など、何番目のディスクかわかる内容を記入してください。必要枚数はモデルによって異なります。
  - OSの種類：「Win 7 64」など、記録されているOSの種類がわかる内容を記入してください。
  - 本機の品番：「リカバリーディスク#1の作成が完了しました」画面 または本体底面に記載されている「CF-」で始まる文字です。

10 [OK]をクリックする。

- ディスクのセットを促す画面が表示されたら、1枚目と同じ種類の未使用のディスクをセットして[OK]をクリックします。「リカバリーディスク#... の書き込み」画面で[OK]をクリックし、画面に従ってすべてのリカバリーディスクを作成してください。
  - 1枚目と異なる種類のディスクをセットすると、しばらくしてエラーメッセージが表示されます。1枚目と同じ種類のディスクを使用してください。
- 「すべてのリカバリーディスクの作成が完了しました」画面が表示された場合は、手順に進んでください。（2枚目以降のディスクを作成する必要はありません）

11 「すべてのリカバリーディスクの作成が完了しました」画面で、[OK]をクリックする。

これでリカバリーディスクの作成は終了です。作成したリカバリーディスクは大切に保管してください。

メモ

- 手順6で選択したOSのリカバリーディスクが作成されます。
  Windows 7 32ビット、64ビットやWindows 8 Pro 64ビットを切り替えるには、次の方法があります。
  - ハードディスク内にあるリカバリー領域のデータを使ってWindowsを再インストールする。
  - インストールしたいOSのリカバリーディスクを使ってWindowsを再インストールする。（Windows 7 32ビットとWindows 7 64ビットの選択が可能）
- リカバリーディスクを使ってWindowsを再インストールした場合は、違うOSのリカバリーディスクは作成できなくなります。

リカバリーディスクのQ&A

質　問	対　策
リカバリーディスク作成ユーティリティが起動しない	**管理者のユーザーアカウントでWindowsにログオンし直してください。** 標準ユーザーではリカバリーディスク作成ユーティリティを起動することができません。それでもリカバリーディスク作成ユーティリティが起動しない場合は、Windowsを再起動してください。
	別のユーザーがリカバリーディスク作成ユーティリティを起動している場合は、どちらかのユーザーがリカバリーディスク作成ユーティリティを終了してください。 リカバリーディスク作成ユーティリティは、複数のユーザーが同時に使用することはできません。
	ハードディスクの空き容量を確認してください。 リカバリーディスクを作成するには、ハードディスクに約15 GBの空き容量が必要です。
	「リカバリー領域の読み込みに失敗しました」というメッセージが表示された場合は、「エラーメッセージ一覧」をご覧ください。（➡13ページ） ハードディスク内にあるリカバリー領域が削除されていたり、ハードディスクに何らかの問題が発生している場合があります。
	リカバリーディスクの作成が完了している場合があります。 作成済みか確認するには、PC情報ビューアーを起動し、[PC使用状況]の[リカバリーディスク作成]をご覧ください。[作成済み]と表示されている場合は作成が完了しています。Windowsを再インストールするまでリカバリーディスク作成ユーティリティを使うことはできません。
リカバリーディスクの作成に失敗した	**動作確認済み（推奨）のディスクがセットされていることを確認してください。** 動作確認済み（推奨）のディスクについては、CF-SX2/CF-B11シリーズの場合はインターネットに接続できる環境で次のWebページにアクセスしてください。 http://askpc.panasonic.co.jp/work/disk/index.html CF-AX2/CF-NX2シリーズの場合は、外付けDVDドライブの説明書をご覧ください。 推奨メーカー以外のディスクでは正常に書き込みや書き換え、読み出しなどができない場合があります。
	ディスクが正しくセットされているか確認してください。 • CF-SX2/CF-B11シリーズをお使いの場合は、ディスクの中心部をカチッと音がするまで押してしっかりとセットしてください。 • CF-B11シリーズでCD/DVDドライブのイジェクトボタンを押してもトレイが開かない場合は、もう一度イジェクトボタンを押してください。 • CF-AX2/CF-NX2シリーズをお使いの場合は、外付けDVDドライブの説明書をご覧ください。
	レンズやディスクが汚れていたり、ディスクが変形したりしていないか確認してください。 • 汚れている場合は、レンズやディスクのクリーニングを行ってください。CD/DVDドライブ搭載モデルをお使いの場合は、『操作マニュアル』「CD/DVDドライブ」の「使用上のお願い」をご覧ください。 • 変形している場合は、新しいディスクに交換し、作成し直してください。

エラーメッセージ一覧

リカバリーディスク作成中にエラーメッセージが表示された場合は、各画面で[OK]をクリックし、対処の説明に従ってください。
それでも解決できない場合、または下記以外のメッセージが表示された場合は、ご相談窓口にご相談ください。

メッセージ	対 処
リカバリー領域の読み込みに失敗しました	ハードディスク内にあるリカバリー領域が削除されています。または、ハードディスクに何らかの問題が発生しています。 • Windowsを再起動し、再度リカバリーディスク作成ユーティリティを起動して作成してみてください。 再度エラーメッセージが表示される場合は、次の手順でリカバリー領域が削除されていないか確認してください。 リカバリー領域の確認方法 ① (スタート)をクリックし、[コンピューター]を右クリックする。 ② [管理]をクリックする。 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。 ③ [ディスクの管理]をクリックし、[回復パーティション]が表示されていることを確認する。 1つ目の[回復パーティション]がリカバリー領域です。 回復パーティション | アクティブ、回復パーティション | (C:) 上記と異なるハードディスク構成の場合は、リカバリーディスクを作成することができません。 • ハードディスク内にリカバリー領域がある場合は、PC-Diagnosticユーティリティで[HDD xxxGB](ハードディスク)の診断を行ってください。 (➡『取扱説明書 活用ガイド』「ハードウェアを診断する」)
イメージファイルの作成に失敗しました	ハードディスク内にあるリカバリー領域が壊れています。 • 上記の「リカバリー領域の確認方法」に従って、リカバリー領域を確認してください。
ディスクの書き込みに失敗しました	書き込みに失敗しています。 • ディスクの書き込み中に失敗した場合は、書き込み中のディスクは使用できなくなります。未使用の新しいディスクをセットしてください。 • ディスクの書き込み中は、CD/DVDドライブに振動を加えないでください。また、外付けDVDドライブを移動しないでください。
標準デュアル チャネル PCI IDE コントローラの取り外し中にエラーが発生しました	リカバリーディスクの作成中にディスクを取り出そうとした可能性があります。 • ディスクが正しくセットされていることを確認し、やり直してください。
ディスクの書き込み中にDVDドライブが取り外されました	リカバリーディスクの作成中にCD/DVDドライブのドライブ文字を変更した可能性があります。 または、外付けDVDドライブを取り外した可能性があります。

再インストールする

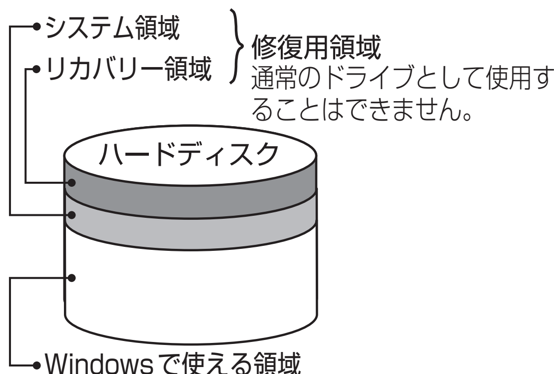
再インストールとは

再インストールとはハードディスクをフォーマットして、Windowsをインストールし直すことです。Windows 7（32ビット）またはWindows 7（64ビット）をインストールすることができます。
ハードディスクの内容は消去され、工場出荷時の状態に戻ります。また、お買い上げ後にお客さまがインストールされたアプリケーションソフトや各種設定（インターネットの設定など）も削除されます。
Windowsが起動しなくなったり、Windowsの動作が不安定になって修復できなくなったりした場合は、再インストールが必要です。

- **パーティションを複数作成している場合**
  Windows用とデータ用にパーティションを分けている場合は、データ用のパーティションをそのままにしてWindowsだけを再インストールすることができます。

重 要

ハードディスク内の修復用領域は絶対に削除しないでください。
本機のハードディスクには、再インストールに必要なリカバリーデータが保存された修復用領域があります。修復用領域はリカバリー領域とシステム領域で構成されています。



- リカバリーデータを他のメディアにバックアップすることはできません。また、外付けのハードディスクなどにバックアップを取ることはできません。
  万一、修復用領域が壊れたり、ハードディスクからの再インストールができなくなった場合は、リカバリーディスクを使用してください。（➡18ページ）
- ハードディスクリカバリーはダイナミックディスク（ディスク管理方式の一種）には対応しておりません。ダイナミックディスクへの変換は行わないでください。
- Windows 7からWindows 8へ、またはその逆へ再インストールする場合はリカバリーディスクを使用してください。

再インストールの流れ

必要なデータのバックアップを取る



ネットワークの設定、ユーザー名やパスワードをメモしておく。



セットアップユーティリティを工場出荷時の設定に戻す。（Windows 8をインストールする場合、工場出荷時の設定に戻した後、「UEFI起動」を「有効」に設定し直してください。）



再インストールする（約15分）。（SSD搭載モデルの場合は約7分 / リカバリーディスク使用時は約40分）



Windows のセットアップを行う。



セットアップユーティリティの設定を変更する（必要な場合のみ）。



インターネットに接続できる場合は、Windows Updateを行う。

再インストールの前に

周辺機器およびSDメモリーカードなどは、すべて取り外してください。
特に、USBフロッピーディスクドライブ、USB接続のメモリーや外付けのハードディスクを接続したままでは、再インストールが正常に行われない場合があります。
CF-AX2/CF-NX2シリーズで、リカバリーディスクを使って再インストールする場合は、外付けのDVDドライブは接続しておいてください。

重 要

- **CF-SX2/CF-B11シリーズをお使いの場合、再インストールしても、DVD-Video/BD-Video（ブルーレイディスクドライブ搭載モデルの場合）のリージョンコードを設定できる回数は、工場出荷時の状態に戻りません。**

再インストールする

重 要

再インストールの途中で電源を切るなどして、再インストールを中止しないでください。Windowsが起動しなくなったり、データが消失して再インストールを実行できなくなったりするおそれがあります。

1. 作成したデータなどのバックアップが取れる状態であれば、他のメディアや外付けハードディスクなどにバックアップを取る。

   再インストールすると、インストールしたアプリケーションソフトやメールの履歴などお客さまが作成したデータは、削除されます。
   - データ用のパーティションを作成していた場合でも、予期しない誤動作 / 誤操作によりデータが消去されるおそれがあります。

2. ネットワークの設定をメモしておく。

   再インストールすると現在の設定は消去されます。

3. ユーザー名やパスワードをメモしておく。

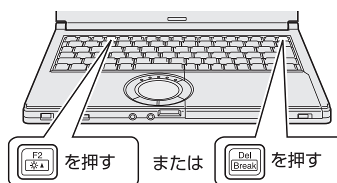
   再インストールするとユーザーアカウントが削除され、Windowsパスワードも削除されます。

4. パソコンの電源を切り、ACアダプターを接続する。

   重 要

   ミニACアダプターでは再インストールできませんので、ACアダプターを使用してください。

5. パソコンの電源を入れ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に F2 または Del を押し、セットアップユーティリティを起動する。



- 「Panasonic」起動画面が表示されない場合は、F2 または Del を押したまま電源を入れてください。セットアップユーティリティの画面またはパスワード入力画面が表示されるまで、F2 または Del を押したままにしてください。
- パスワードを設定している場合は、次の画面でスーパーバイザーパスワードを入力し、Enter を押してください。

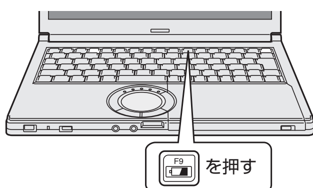


ユーザーパスワードでは、各項目の設定値を工場出荷時の値（パスワード、システム時間、システム日付を除く）に戻す F9 は使えません。

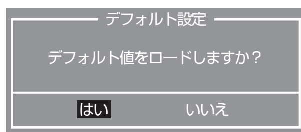
- お買い上げ時の状態から設定を変更して使っていた場合は、あらかじめ変更した設定をメモしておくことをお勧めします。

再インストールする

6 F9 を押す。



7 次の画面で[はい]を選び、Enter を押す。



8 F10 を押して、確認のメッセージが表示されたら、[はい]を選び、Enter を押す。

セットアップユーティリティが終了し、パソコンが再起動します。
パスワードを設定している場合、以降の手順で「パスワードを入力してください」と表示されることがありますので、スーパーバイザーパスワードを入力して、Enter を押してください。

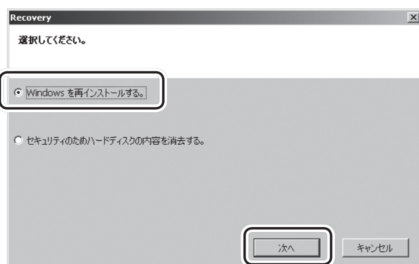
9 「Panasonic」起動画面が表示されている間に F2 または Del を押し、セットアップユーティリティを起動する。

10 ← と → を使って「終了」メニューに移動する。

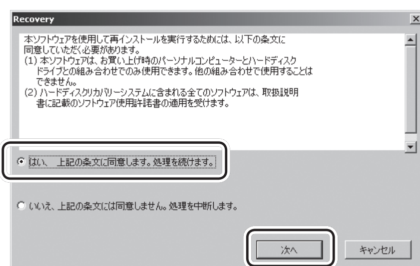
11 ↑ と ↓ を使って[コンピューターの修復]を選び、Enter を押す。

12 [Windowsを再インストールする。]をクリックして選び、[次へ]をクリックする。

[キャンセル]をクリックすると、操作を中止できます。

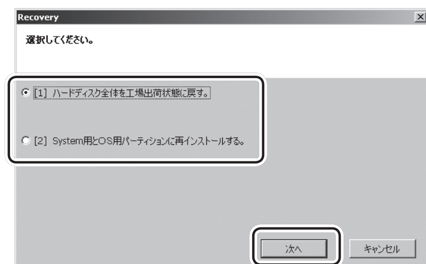


13 [はい、上記の条文に同意します。処理を続けます。]をクリックして選び、[次へ]をクリックする。



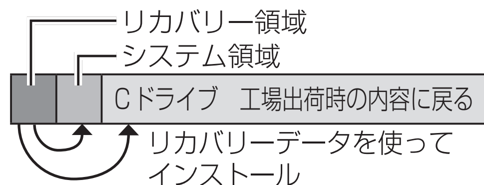
(リカバリーディスクを使って再インストールした場合は、以降の画面が一部異なります。)

14 再インストールの方法を選び、[次へ]をクリックする。



再インストール方法によって、再インストール後のハードディスクの構成が異なります。
(リカバリー領域には、再インストールに必要なリカバリーデータが入っています。)

● **[[1] ハードディスク全体を工場出荷状態に戻す]を選んだ場合：**

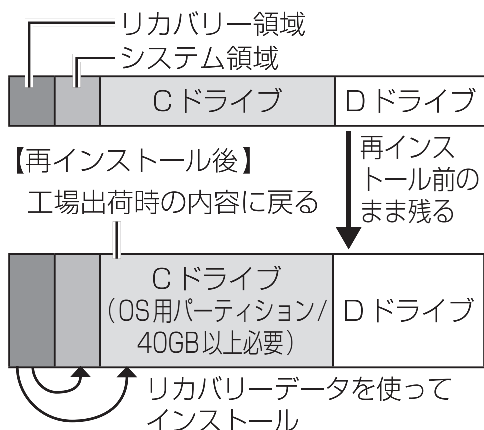


工場出荷時の状態に戻したい場合や工場出荷時の状態から新たにパーティションを作成する場合に選んでください。パーティションの変更方法は『取扱説明書 活用ガイド』の「パーティションを変更する」をご覧ください。Windows 7でご使用の場合、❶ (スタート)をクリックし、[コンピューター]を右クリックする。❷[管理]をクリックする。手順❸以降は『取扱説明書 活用ガイド』を参考に操作してください。

● [[2] System用とOS用パーティションに再インストールする] を選んだ場合：

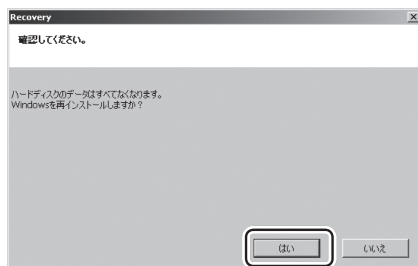
この項目は、次の図のようにあらかじめパーティションを分けてお使いの場合に選んでください。パーティションの分割方法は『取扱説明書 活用ガイド』の「パーティションを変更する」をご覧ください。Windows 7でご使用の場合、❶ (スタート)をクリックし、[コンピューター]を右クリックする。❷ [管理]をクリックする。手順❸以降は『取扱説明書 活用ガイド』を参考に操作してください。

【再インストール前】
ハードディスクを複数のパーティションに分けて使用。



ハードディスクを複数のパーティションに分けて使用しており、ハードディスクの構成を変更せずにC ドライブ以外のパーティションのデータを残したい場合に選んでください。
予期しない誤動作 / 誤操作によりデータが消去されるおそれがあります。必ずデータのバックアップを取っておいてください。システム領域とOS用パーティションにWindowsを再インストールできない状態の場合は、[[2]System用とOS用パーティションに再インストールする]の項目は表示されません。

⑮ 確認のメッセージが表示されたら、[はい]をクリックする。



（画面は[[1] ハードディスク全体を工場出荷状態に戻す]を選んだ場合の例です。）

⑯「OS選択」画面でインストールするOS（[Windows7 32bit]または[Windows7 64bit]）をクリックし、[OK]をクリックする。

⑰ [OK]をクリックする。
- 再インストールが始まります。
- 再インストールの途中で電源を切るなどして、再インストールを中止しないでください。

⑱ 終了のメッセージが表示されたら、[OK]をクリックする。

パソコンの電源が切れます。

⑲ 電源を入れ、Windowsのセットアップを行う。
（➡3ページ）

⑳ セットアップユーティリティを起動して、必要に応じて設定を変更する。

パスワード、日付、時間を除くすべての設定は、工場出荷時の状態に戻っています。

㉑ インターネットに接続できる場合は、 (スタート)-[すべてのプログラム]-[Windows Update]をクリックし、Windows Updateを行う。

● **リカバリーディスクと異なる種類のWindows（32ビットまたは64ビット）を手順⑯で選んだ場合は、システム修復ディスクを作成してください（例：リカバリーディスクが64ビット用で、32ビットをインストールした場合）。**システム修復ディスクは、ハードディスクから「システム回復オプション」を起動できない場合などに使います。
リカバリーディスクと同じ種類のWindowsをインストールした場合は、システム修復ディスクを作成する必要はありません。
システム修復ディスクの作成方法：
① CF-SX2/CF-B11シリーズをお使いの場合は、手順②に進む。
CF-AX2/CF-NX2シリーズをお使いの場合は、外付けDVDドライブ（別売り）を本機に接続する。
② （スタート）-[コントロールパネル]-[バックアップの作成]をクリックする。
③ [システム修復ディスクの作成]をクリックする。
④ CD/DVDドライブに未使用のディスクをセットして、[ディスクの作成]をクリックする。
終了したら[閉じる]をクリックしてください。
作成したシステム修復ディスクを使って「システム回復オプション」を表示し、画面に従って操作してください。

重 要

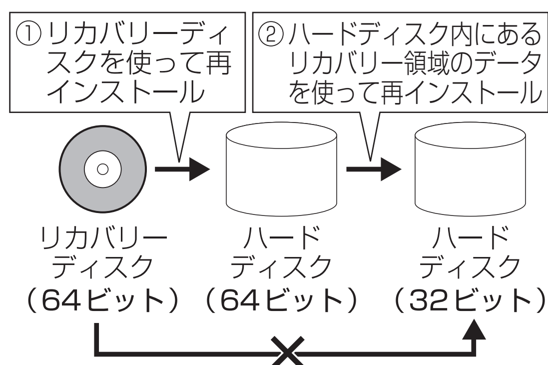
● Microsoft® Officeインストール済みモデルをお使いの場合
- リカバリーディスクを使ってWindowsを再インストールした場合は、ExcelやWordなどMicrosoft® Officeのアプリケーションソフトが削除されます（その後、ハードディスク内にあるリカバリー領域のデータを使って再インストールしてもMicrosoft® Officeのアプリケーションソフトはインストールされません）。
再インストールした後、付属の『マイクロソフト オフィスホームアンドビジネス2010』内のディスクを使ってセットアップしてください。
- ハードディスク内にあるリカバリー領域のデータやお客さまが作成されたリカバリーディスクを使って再インストールした場合はMicrosoft® Officeのアプリケーションソフトもインストールされます。ディスクを使ってセットアップする必要はありません。

リカバリーディスクを使う

次の場合は、リカバリーディスクを使って再インストールしてください。
● 管理者アカウントのパスワードがわからなくなった場合。
● 「再インストールする」（➡14ページ）の操作が最後まで実行できない場合（修復用領域が破損している可能性があります）。
● Windows 7からWindows 8へ、またはその逆へ再インストールする場合はリカバリーディスクを使用してください。

リカバリーディスクを使った再インストールでは、Windows 7の32ビットと64ビットを切り替えることはできません。リカバリーディスクに収録されているWindowsがインストールされます。

● Windows 7（64ビット）のリカバリーディスクをお持ちの場合の例



リカバリーディスクを使って、リカバリーディスクと異なる種類のWindowsをインストールすることはできません。

重 要

● **再インストールすると、リカバリーディスクを再度作成できるようになります。**
リカバリーディスクを複数回作成し、作成したリカバリーディスクを使って再インストールするときは、1枚目と同じときに作成した2枚目（モデルによっては2枚目および3枚目）を使用してください。
再インストール前に作成した1枚目と再インストール後に作成した2枚目を使用するなど、異なる時期に作成したリカバリーディスクを混在して使用すると、正しく再インストールできない場合があります。

1 「再インストールする」(➡15ページ)の手順❶〜❹を行う。

2 CF-SX2/CF-B11シリーズをお使いの場合は手順❸に進む。
CF-AX2/CF-NX2シリーズをお使いの場合は、外付けDVDドライブ(別売り)を本機に接続する。

動作確認済みのDVDドライブについては、『取扱説明書 基本ガイド』の「別売り商品」をご覧ください。接続のしかたは、外付けDVDドライブの説明書をご覧ください。

3 パソコンの電源を入れ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に F2 または Del を押し、セットアップユーティリティを起動する。

- パスワードを設定している場合は、パスワード入力の画面でスーパーバイザーパスワードを入力し、Enter を押してください。ユーザーパスワードでは各項目の設定値を工場出荷時の値(パスワード、システム時間、システム日付を除く)に戻す F9 は使えません。

4 F9 を押す。

確認の画面で[はい]を選び、Enter を押してください。

5 CF-SX2/CF-B11シリーズをお使いの場合は次の手順を行う。

① ← と → を使って「メイン」メニューに移動する。
② ↑ と ↓ を使って[光学ドライブ電源]を選び、Enter を押して[オン]を選び、Enter を押す。

CF-AX2/CF-NX2シリーズをお使いの場合は手順❻に進む。

6 F10 を押して、確認のメッセージが表示されたら、[はい]を選び、Enter を押す。

セットアップユーティリティが終了し、パソコンが再起動します。
パスワードを設定している場合、以降の手順で「パスワードを入力してください」と表示されることがありますので、スーパーバイザーパスワードを入力して、Enter を押してください。

7 「Panasonic」起動画面が表示されている間に F2 または Del を押し、セットアップユーティリティを起動する。

8 リカバリーディスク(1枚目)をCD/DVDドライブにセットする。

- CF-SX2/CF-B11シリーズをお使いで、ディスクカバーが開かない場合は、次の手順を行ってください。
  ①「詳細」メニューの[光学ドライブ]を[有効]、「メイン」メニューの[光学ドライブ電源]を[オン]に設定する。
  ② F10 を押し、確認のメッセージが表示されたら[はい]を選び、Enter を押す。
  ③「Panasonic」起動画面が表示されている間に F2 または Del を押し、セットアップユーティリティを起動する。
  ④ リカバリーディスクをセットする。
- CF-AX2/CF-NX2シリーズをお使いの場合、ディスクのセット方法については外付けDVDドライブに付属の説明書をご覧ください。

9 ← と → を使って「終了」メニューに移動する。

10 ↑ と ↓ を使って[デバイスを指定して起動]の下に表示されているCD/DVDドライブのデバイス名を選び、Enter を押す。

- CD/DVDドライブのデバイス名は、MATSHITAXXXやSlimtypeDVDXXXなどで表示されます。デバイス名がわからない場合は次の手順を行ってください。
  ①[起動]メニューに移動する。
  ②[起動オプション#1]を選び Enter を押し、[光学ドライブ](CF-SX2/CF-B11シリーズの場合)または[USB光学ドライブ](CF-AX2/CF-NX2シリーズの場合)を選んで Enter を押す。
  ③ F10 を押して、確認のメッセージが表示されたら、[はい]を選び Enter を押す。
- 次の画面が表示されるまで時間がかかる場合があります。

11 [Windowsを再インストールする。]をクリックして選び、[次へ]をクリックする。

[キャンセル]をクリックすると、操作を中止できます。

⑫ [はい、上記の条文に同意します。処理を続けます。]をクリックして選び、[次へ]をクリックする。

⑬ 再インストールの方法を選び、[次へ]をクリックする。

- 再インストール方法によって、再インストール後のハードディスクの構成が異なります。詳しくは16ページ手順⑭をご覧ください。
- 以降は画面の指示に従って、再インストールしてください。
- リカバリーディスクが複数枚ある場合は、途中で「ドライブに...番目のメディアを挿入してください」というようなメッセージが表示されます。その場合は、メッセージに表示されている番号のリカバリーディスクをセットして[OK]をクリックしてください。
- 手順⑪で[セキュリティのためハードディスクの内容を消去する]を選ぶと、ハードディスクのデータの消去を行うことができます。

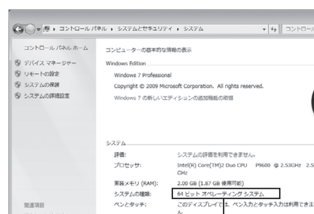
Windows 7のシステムの種類を確認する

次の手順でハードディスクにインストールされているWindows 7が32ビットか64ビットかを確認することができます。

1 （スタート）-[コンピューター]をクリックする。

2 [システムのプロパティ]をクリックする。

「システム」の「システムの種類」で確認してください。



- 32ビットの場合：
  32ビット オペレーティング システム
- 64ビットの場合：
  64ビット オペレーティング システム

パナソニック株式会社　ITプロダクツビジネスユニット

〒570-0021　大阪府守口市八雲東町一丁目10番12号

Printed in Japan

HS1012-0
DFQX5804ZA

